

## 大学にかかる論点

早稲田大学 鎌田 薫

1. これからの我が国社会における大学の役割

- 天然資源に乏しく、少子化も急速に進行しているわが国においては、グローバル人材、イノベーション創出人材の育成が極めて重要。
  - ・ とりわけ、今日の社会は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す「知識基盤社会」となっており、大学・大学院の役割がますます重要になっている。
  - ・ にもかかわらず、諸外国と比較すると、大学進学率、人口あたりの修士号・博士号取得者数は、極めて低く、社会人の学び直しの機会も限られている。
  - ・ 高等教育に対する公財政支出も、国際的には低い水準にあり、国公立間の格差も大きい。
- ⇒ 大学の多様性を尊重しつつ、質・量両面での飛躍的な強化・充実を図る効果的な方策が必要

2. 大学のグローバル化・グローバル教育強化のための方策

- 教育環境の国際化
  - ・ 海外の大学との連携による新しい大学・学部・学科の創設
  - ・ 日本人学生の海外留学の促進
  - ・ 外国人教員・外国人留学生の積極的な受け入れ
  - ・ 外国語による授業比率の増加
  - ・ アカデミックカレンダーの国際対応（秋入学、クォーター制など）
- 教育内容の国際化
  - ・ 実践的な外国語教育
  - ・ 学生の学びの量と質の向上（幅広い教養、自然科学・人文社会科学の基礎的素養、高い専門的能力、考える力、表現力、社会性の涵養など）

3. 大学のイノベーション力・イノベーション教育力強化のための方策

- 技術と経営を俯瞰できる人材の育成強化
- 大学の研究助成の拡充と研究成果の活用促進
- 大学間連携および地域社会や産業界との連携の強化
- 大学院教育の拡充

#### 4. 大学において学生を鍛え上げ社会に送り出す機能の強化

- 学生を鍛え上げるための学びの質的転換
- 地域の人材ニーズに応える付加価値の高い人材育成の在り方
- 就職活動時期の在り方
- 社会との接続を意識した教育の拡充・強化（キャリア教育、中長期インターンシップなど）

#### 5. 大学における社会人の学び直し機能の強化

- 「大学＝18歳」という日本型モデルの打破
- 実践的な「学び直し」プログラムの充実（目的に応じた期間、形態）
- 学び直しの課題（企業の理解、費用負担）の克服

#### 6. 教育・研究の基盤となる大学の機能強化

- 大学の多様性を踏まえた機能強化のためのシステム改革（世界水準の教育研究の展開／全国的な教育研究拠点／地域に密着し貢献する中核的存在 など）
- 機能強化を促進するための大学のガバナンス強化